

# 早期体験実習

単位数（時間数）：1 単位（45 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・土田幸子

科目担当者（職位・氏名）：全看護学領域教員

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢

看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：44

## ■ 授業概要

看護職が活動している様々な場の特徴ならびにそれぞれの場で果たしている看護職の役割の多様性を知るとともに、看護職者としての基本的な態度やあり方を考えてもらう。それにより、看護学を学ぶうえでの動機づけとなることをねらいとする。

## ■ 到達目標

1. 看護職が働く場と看護職の役割の多様性について知る。
2. 看護の対象が幅広い年齢層の多様な健康状態にある人々だと知る。
3. 専門性の異なる職種によってチームを構成し、ケアが提供されていることを知る。
4. 看護職者としての基本的な態度について考える。
5. 実習体験を通して得た学びを明確にし、記述する。

## ■ 教育内容

基礎看護学

## ■ キーワード

早期体験、看護職の役割、看護職者の活動の場

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当
2025 年 4月18日（金） ～ 5月16日（金）  前半5月12日・13日 後半5月14日・15日 8:30～16:00 5月16日（金）全体	<実習方法> 1. 実習オリエンテーション （4月18日（金）と、5月9日（金）3～4限） 2. 臨地実習（前半2日間と後半2日間それぞれ異なる施設で実施） 1) 1名の看護職員とともに行動し、援助場面を見学する。 2) 病院と看護職が勤務する地域の施設の2カ所で実習する。 3) 機会があれば対象者と積極的にコミュニケーションをとる。 4) グループメンバーで積極的な意見交換をし、学びを共有する。 3. 最終日（5月16日金曜日）は、1年生全体で学習成果の発表会を行う。  *詳細は「早期体験実習要項」参照	全看護 学領域 の教員

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

実習内容、実習記録、レポート、グループワーク等により総合的に行う。

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・実習記録のフィードバックは、実習中は口頭または記録にコメントをする。実習終了後はコメントを付して返却する。
- ・レポートはコメントを付して返却する。

## ■ 教科書

実習オリエンテーションの際に、実習担当教員より提示する。

## ■ 参考書・参考資料等

実習オリエンテーションの際に、実習担当教員より提示する。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

詳細については実習要項を参照のこと。

実習開始前には、1日の行動計画を立案するために実施する看護援助について復習（45分）

実習終了後は、その日の振り返りと翌日の援助を実施するための準備学習（45分）

## ■ 担当教員からのメッセージ

入学後の間もない時期に、看護職が現場でどのように働いているのかを見学することで、将来、看護専門職となる関心を高め、その後の学習への動機づけや能動的・問題解決的な学習態度を身につけてほしいです。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

臨地で随時対応します。

実習オリエンテーションの際、担当教員の連絡先を提示します。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

看護師、保健師

■ 実務経験を活かした教育内容

病院や施設での看護師、保健師の経験を踏まえ、病院や施設の実習指導を行っています。